

企画部会 NPO臨床トンネル工学研究所 若手勉強会報告書

去る1月12日にオンラインにて若手技術者による「勉強会」を開催しました。

1. 開催日時と場所

日時：令和4年1月12日（水） 15:00～17:00

※オンライン（Zoom）による開催

2. 開催内容

15:00～13:05 開会挨拶：理事長 中川浩二

15:05～15:10 勉強会の進め方と注意事項の確認：司会進行 松岡委員

15:10～15:18 高規格支保工はなぜ真四角ではないのか？

質問者：西村友宏（大林組） 欠席 回答者：中村明彦（テムロ）

15:18～15:26 想定している変形モードが実際と全く異なった場合に、現場ではどのような管理を行うのが良いか

質問者：鈴木拓也（大林組） 回答者：諏訪 至（西松建設）

15:26～15:34 施工時のトンネル排水について

質問者：塚本豊（欠席） 代理：ウチカタヒカル（青木あすなる建設）

回答者：扇 裕次（鹿島建設）

15:34～15:42 覆工コンクリート脱枠時の対応策について

質問者：伊藤正（佐藤工業） 回答者：諏訪 至（西松建設）

15:42～15:50 同一路線のトンネル断面形状について

質問者：奈良崎尚也（大林組） 回答者：原 健一郎（サンコーC）

15:50～15:58 鋼アーチ支保工の設置位置について

質問者：坂本祐人（大林組） 回答者：中村明彦（テムロ）

16:05～16:23 DXが進むなか、将来のトンネル施工をどう考えるか

質問者：田中秀明（大成建設） 回答者：石田 滋樹（中電技術C）

16:23～16:31 掘削補助工法について

質問者：貞山直毅（大林組） 回答者：樽井 稔（ジオ・ソリューション）

16:31～16:39 トンネル計画から実際に着手するまでの流れと期間について

質問者：石橋勇紀（大成建設） 回答者：村上 邦（日鉄鉱コンサルタント）

16:39～16:47 内空断面の決め方について

質問者：川元健太郎（大成建設） 回答者：片山 武（オリエンタルC）

16:47～16:55 道路トンネル定期点検要領の対策区分(5区分)と健全性の判定区分(4区分)の区分の違いについて

質問者：大津英介（エイト日本技術開発） 回答者：井上彰（オリエンタルC）

16:55～17:00 閉会挨拶 企画部会幹事 古賀 大陸

3. 開催目的

昨今の新型コロナウイルスの感染拡大により、在宅勤務の推進や対面でのコミュニケーションの減少によって、上司や先輩に相談できない仕事上の疑問や悩みをかかえておられる若手技術者の方に向け、気軽に相談できる場として本勉強会を開催することといたしました。

「若手技術者がトンネルの設計や施工で疑問に思っていることをベテランに聞いてみよう」をメインテーマとしてQ & A方式の勉強会を開催しました。

4. 結 果

今年度も昨年度同様、新型コロナウイルスの感染拡大予防に配慮し、オンライン形式にて勉強会を開催しました。若手、ベテラン両方の参加者より有意義であったとの所見を頂いております。

今回は、これまでのリクエストもありトンネル技術に絞った内容としたことも好評の一因と思われます。

若手技術者の参加者は10名（賛助会員）で多くのベテラン技術者にも参加頂きました。今年度は、若手技術者からの質問に対し、企画部会の他、技術研究部会、地域活動部会の九州支部から協力頂き、回答を作成しました。

開催後の参加者からのアンケート結果は次ページ以降に示しておりますが、参加者から勉強会の内容、運営方法にも満足頂いており、今後の勉強会参加への意欲も高い評価を頂いております。

勉強会の情報は、ダイレクトメールの他、社内からの紹介が多く、今後も会員皆様のご協力を得ながら少しずつ認知度を上げていきたいと考えております。

今年度も、懇親会は開催できず、社外の繋がりを深めることは十分ではなかったと思いますが、オンライン形式により多くの方に参加頂けたと思います。

今後も開催形式、募集人数、開催時間を検討しながら、若手勉強会を定期的で開催できればと考えます。今後ともご支援・ご協力の程、宜しくお願い致します。

■ 参加人数：30名（内 若手技術者：10名）

■ CPD申請者人数：9名

【若手技術者所見からの抜粋の紹介】

- ・ 質問に対して丁寧に応えていただき、非常に勉強になり有意義な勉強会となりました。
- ・ 計画段階～施工に至る知識を得ることができました。
- ・ 「切羽での排水対策」については、一般的な対処方法は書籍などでも知ることが出来ますが、地質条件によっては更なる工夫が必要であり、その知識は広く公表されるものでもないために、今回参加出来て良かった。
- ・ 沈下抑制対策について質問させていただきましたが、有効な手段を沈下データとともに提供いただき、大変理解が容易でした。
- ・ 「山岳トンネルはヨットに似ている」のフレーズが非常に印象深く、心に残りました。
- ・ 生産性向上に伴って自動化施工技術の活用が促進されると思いますが、最終的な判断は「人」

、その判断を決定づけるのは知識・経験であることを忘れずに、自己の研鑽を重ねることが大事だと理解できました。

・熟練技術者からの回答は、経験してきた事象をベースとして回答を構成されており、何事も経験することの大切さを改めて感じた。

【ベテラン技術者所見からの抜粋の紹介】

・普段、若手技術者の方々がこういったところに疑問を抱き、悩まれ、将来に向けてどんなことを思い描いているのか、垣間見ることができ、大変興味深く聞いておりました。

・各回答者の方々からの深く掘り下げた貴重なお話も伺うことができ、大変勉強になりました。

・WEB開催のためか若手同士の交流が無く残念だった。

・今回みたいに広範囲な質問ではなく、設計、施工等分野を絞ってディスカッション形式で実施するのも幅広い意見が出て有効な勉強方法ではないかと感じています。

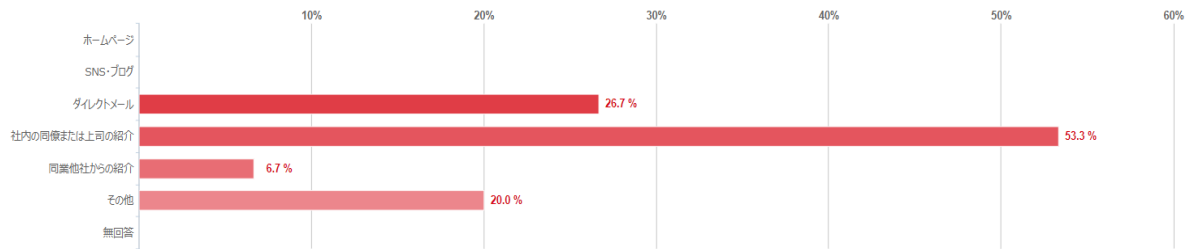
・回答を考える際にはベテラン技術者にも勉強になったことと思いますので、今後もこういった企画を進めていただくようお願いします。

(記録 企画部会 担当幹事 古賀 大陸 (株式会社エイト日本技術開発))

アンケートの結果

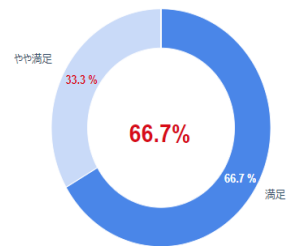
Q1.

今回、若手勉強会が開催されることを何から聞きまして知りましたか。
すべてお知らせください。
(回答数: 15)



Q2.

今回の若手勉強会について、総合的にどのくらい満足していますか。
(回答数: 15)



Q3.

今回の若手勉強会の以下の点に対して、どのくらい満足していますか。
それぞれお知らせください。

勉強会のテーマ (回答数: 15)

■ 満足 ■ やや満足 ■ どちらでもない ■ やや不満 ■ 不満 ■ 無回答



質問と回答の内容 (回答数: 15)

■ 満足 ■ やや満足 ■ どちらでもない ■ やや不満 ■ 不満 ■ 無回答



コンテンツや休憩の時間配分 (回答数: 15)

■ 満足 ■ やや満足 ■ どちらともいえない ■ やや不満 ■ 不満 ■ 無回答



進行のスムーズさ (回答数: 15)

■ 満足 ■ やや満足 ■ どちらともいえない ■ やや不満 ■ 不満 ■ 無回答



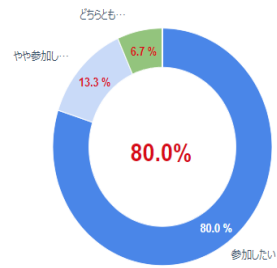
事務局の対応 (回答数: 15)

■ 満足 ■ やや満足 ■ どちらともいえない ■ やや不満 ■ 不満 ■ 無回答



Q4.

また、若手勉強会に参加したいと思いますか。
(回答数: 15)



Q.

年齢

(回答数: 15)

